

公共事業に係る効果等について

県営かんがい排水事業 佐賀東部地区

(農林水産部農地整備課)

1-1. 事業概要

❖ 国営筑後川下流土地改良事業の関連事業として、
幹線的な農業用排水路等を県営圃場整備事業等と一体的に整備

事業名：県営かんがい排水事業

地区名：佐賀東部地区

工期：昭和52年度 ~ 平成24年度

事業費：14,378百万円

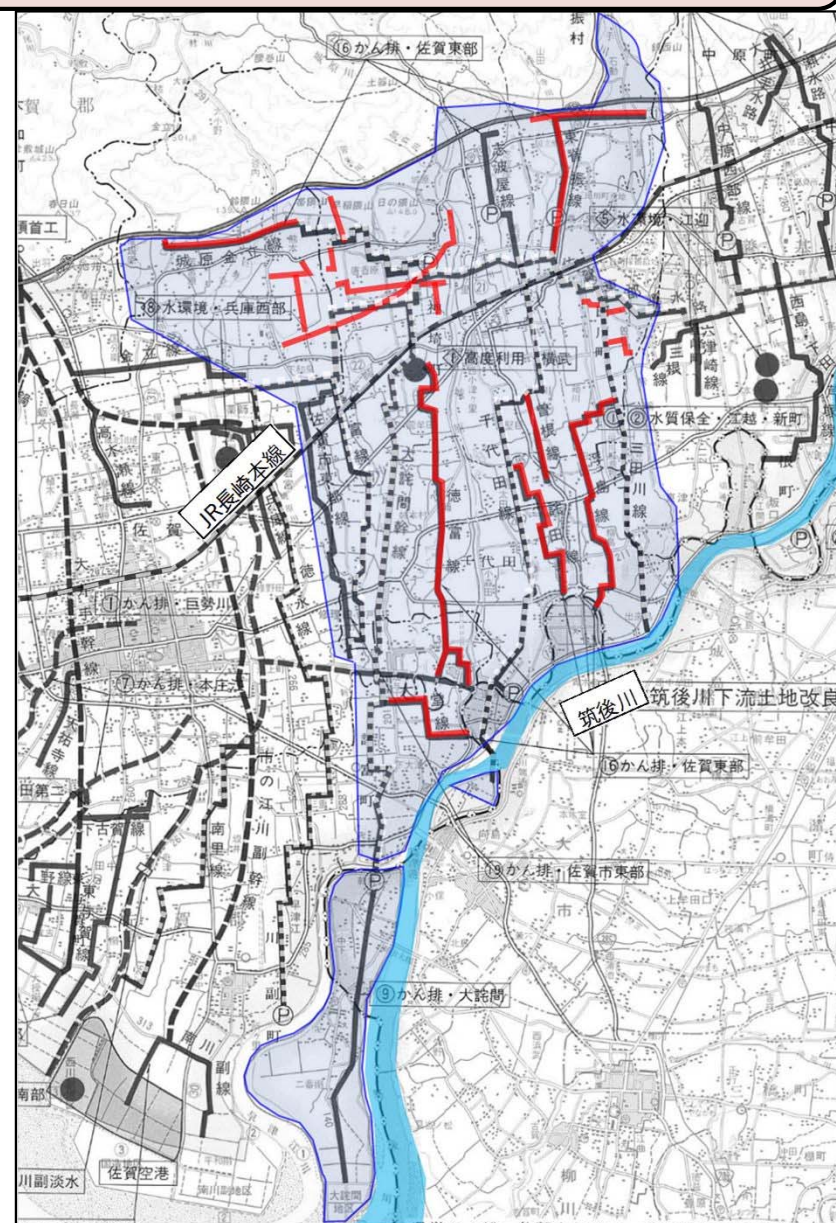
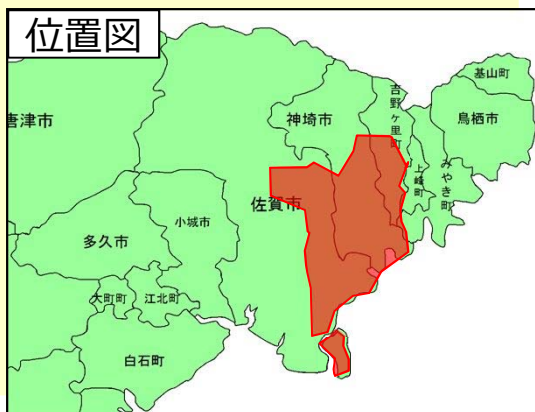
負担割合：国50%, 県25%, 地元(市町・農家)25%

事業内容：用水路工 L = 20,727m
用排水路工 L = 23,815m
揚水機場 N = 1箇所
排水樋門 N = 5箇所
水管理施設 一式

受益面積：5,748ha

関係市町：

佐賀市、神埼市、
吉野ヶ里町、上峰町、
みやき町
(福岡県)久留米市、
大川市



1-2. 事業の概要 (国営筑後川下流土地改良事業)



事業名：国営筑後川下流土地改良事業
 工期：昭和51年度 ~ 平成30年度
 事業内容：揚水機場 N = 3箇所
 導水路 L = 23.9 km
 幹線水路 L = 208.5 km

	揚水機場
	排水機場
	吐水槽およびファームボンド
	開水路
	管水路
	水門
	白石平野地区
	筑後川下流白石地区
	排水路(有明水路)

	水資源機構
	用水路
	排水路
	揚水機場
	ファームボンド

	受益地(田)
	受益地(普通畑)
	受益地(樹園地)

2-1. 事業の目的①

事業実施前の状況と課題

- 本地域における農業用水は
 - ◆ 平野部では有明海の干満差を利用した淡水(アオ)取水に依存
 - ◆ 中山間部では地区内の小河川等に依存
- クリークが縦横無尽に走り、農地も不規則な状態で散在
- 用水の確保のため、かんがい期にはクリークは満水状態



- ◇ 用水量は不安定で水管理に多くの労力と技術が必要
- ◇ 農地面積に対して、地区内の河川流域が狭く、自流量に乏しいため、渇水時には用水が不足
- ▷ 大型機械の導入が困難、農作業の効率が悪く営農に支障
- ▷ 農地の排水条件が悪く、畑作物の導入が困難

2-2. 事業の目的②

事業の目的

- 国営筑後川下流土地改良事業および本事業を実施することで
 - ◆ 淡水取水の筑後大堰への合口および幹線クリークの整理統合により用排水系統を再編成し、筑後川等を水源とした用水の安定供給
 - ほ場整備事業等で区画整理を一体的に実施することで
 - ◆ 大型機械の導入による農作業効率の向上
 - ◆ 農地の排水条件の改善
 - これら営農条件の改善により、担い手への農地集積や多様な作物を導入
- 上記の実施をもって農業経営の安定を図る。

3. 事業内容

用水施設の整備



東脊振揚水機場

用排水施設の整備



県営用排水路（浮島線）

水管理施設の整備



水管理施設



水位計



排水樋門

4-1. 事業実施後の状況①

事業実施地区の俯瞰



4-2 事業実施後の状況② 農業用水の流れ（イメージ）



4-3. 事業実施後の状況③

用排水システムの再編

➤ クリーク網を整理統合



事業実施前



事業実施後

用水の安定供給

➤ 淡水取水や中小河川を水源とする地帯に、用水を安定供給



分水工から用水路への用水供給状況

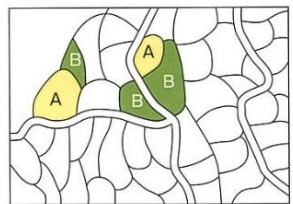


水田への給水状況
(R1.6月)

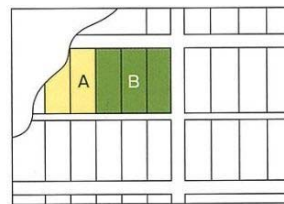
4-4. 事業実施後の状況④

圃場整備事業等との一体的な整備

➤ 区画整理の実施による農地集積や大型機械の導入



事業実施前

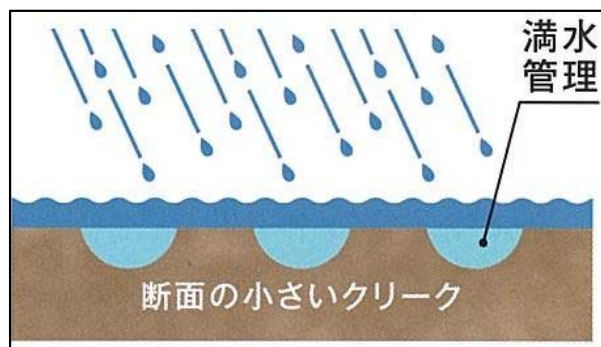


事業実施後

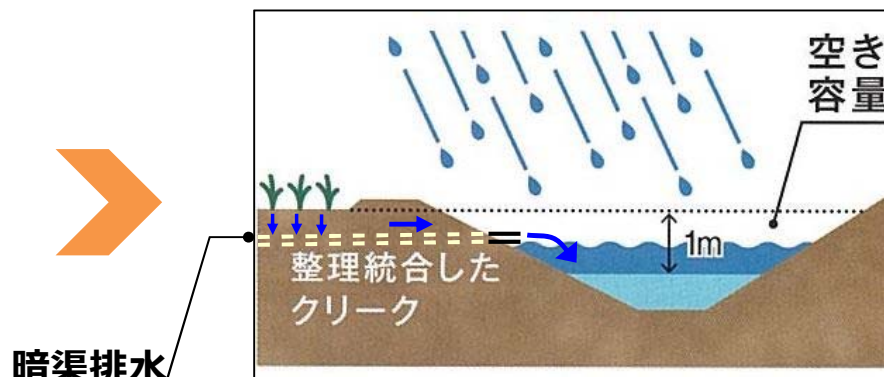


排水条件の改善

- クリークの管理水位の低下が可能となったことで、
- ・空き容量の確保による湛水被害の軽減
 - ・暗渠排水の実施による農地の乾田化（汎用化）



事業実施前



事業実施後

4-5. 事業実施後の状況⑤

作付状況

➤ 水稲以外の畑作物の導入



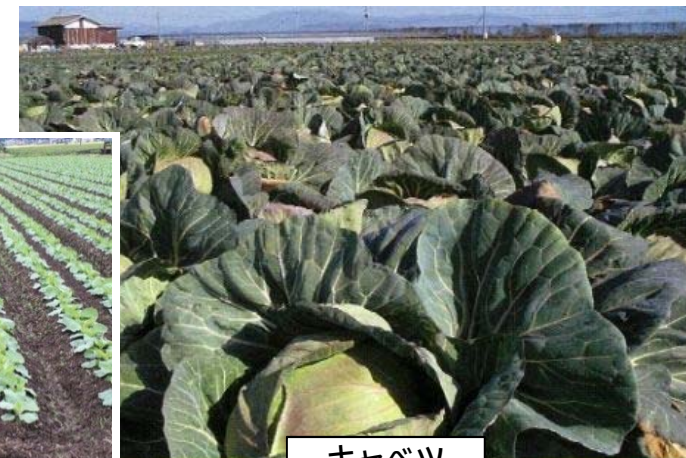
アスパラガス



タマネギ



小麦



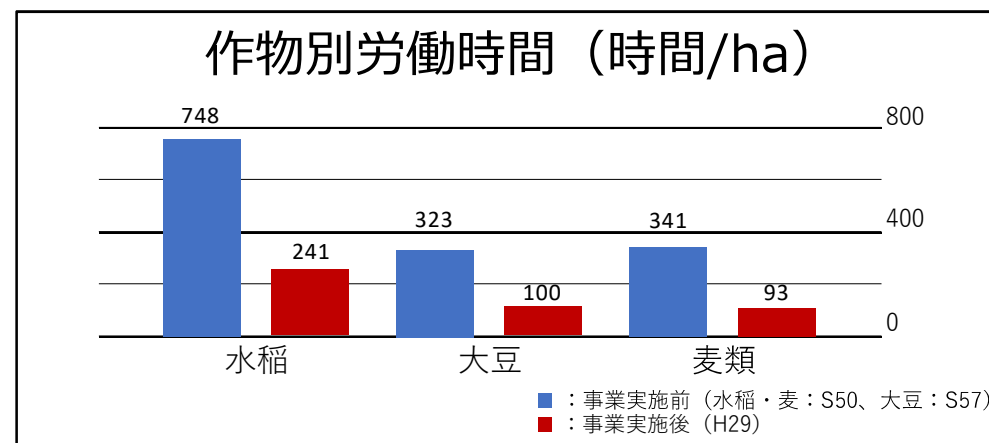
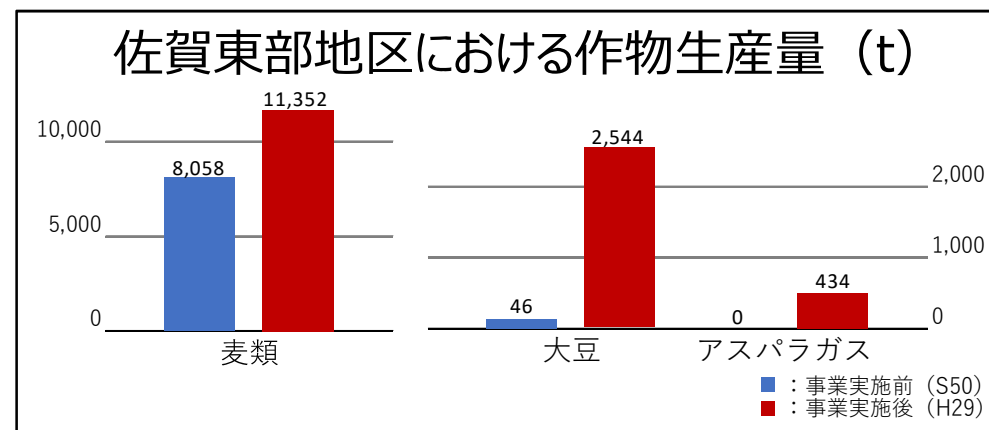
キャベツ

※一部写真はイメージ

5. 事業効果

事業効果

- 畑作物の生産拡大
 - ◆ 農業用水の安定供給や営農条件の向上により、アスパラガスなどの高収益作物が導入された。また、大豆や麦などの生産量も増加した。
- 労働時間の節減
 - ◆ 区画整理実施と農地の集積が図られたことで、効率的な機械利用が可能となり、労働時間の節減が図られた。
- 湛水被害の防止
 - ◆ クリーク網の再編により管理水位を引き下げることが可能となり、大雨時の湛水被害が大幅に減少した。



その他の効果

- 総合学習の場の提供
 - ◆ 整備されたクリークや農地では、周辺の小学校において、地域の歴史を学ぶ総合学習の場に活用され、農業水利施設が有する多面的機能の理解向上に役立っている

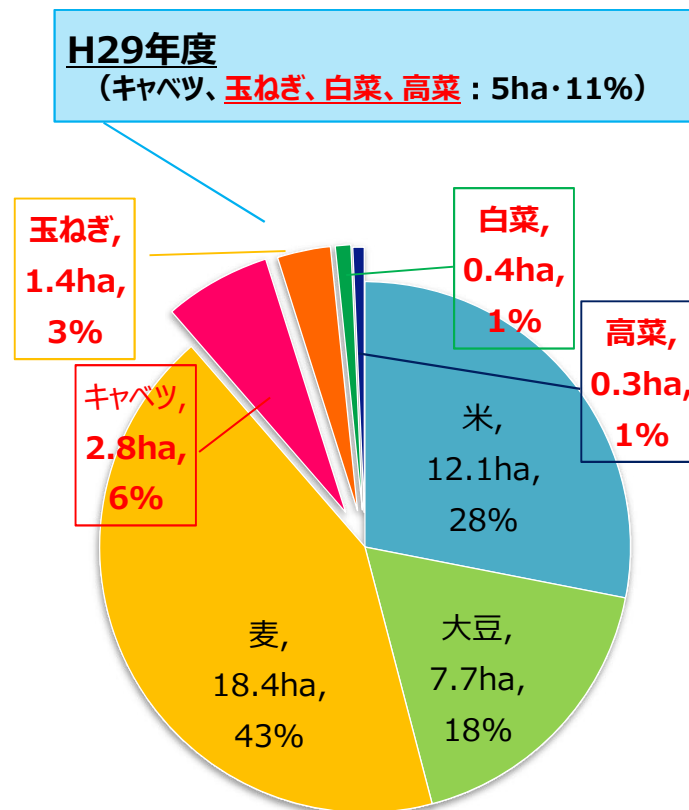


6. 県民の声

県民の声

- 用水に関する効果
 - ◆ 田植え時期に雨が降らなければ、田植えが10日間程度遅れていたが、事業実施後は**代掻き、田植えが遅れることがなくなった**。〔農家A〕
- 排水に関する効果
 - ◆ 事業前は大雨が降ると数日間程度は湛水していたが、水路の整備により貯留機能や排水機能がアップし、近年では**湛水被害も非常に少なくなった**。〔農家B〕
 - ◆ 安定的に用水が確保できるため、かんがい期でもクレークの水位を下げる事が可能となり、水田の乾田化（汎用化）が図られ、**多様な作物の作付けが可能となった**。〔法人C〕
- 営農時間の節減により、女性が参入しやすくなり、また**6次産業化の取組**も行っている。〔法人C〕

法人Cの取組事例



女性の活躍

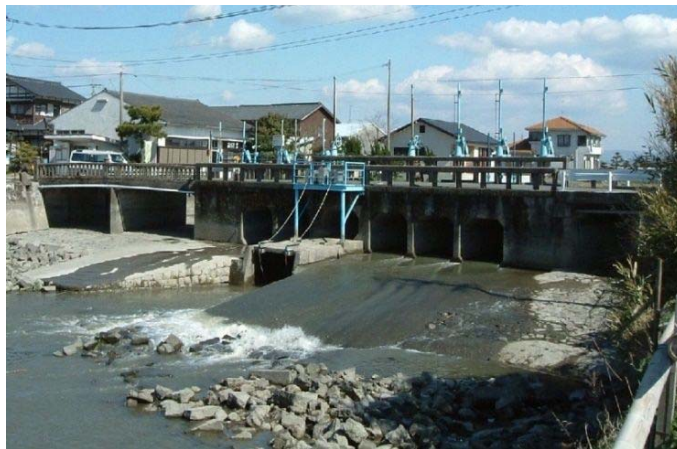
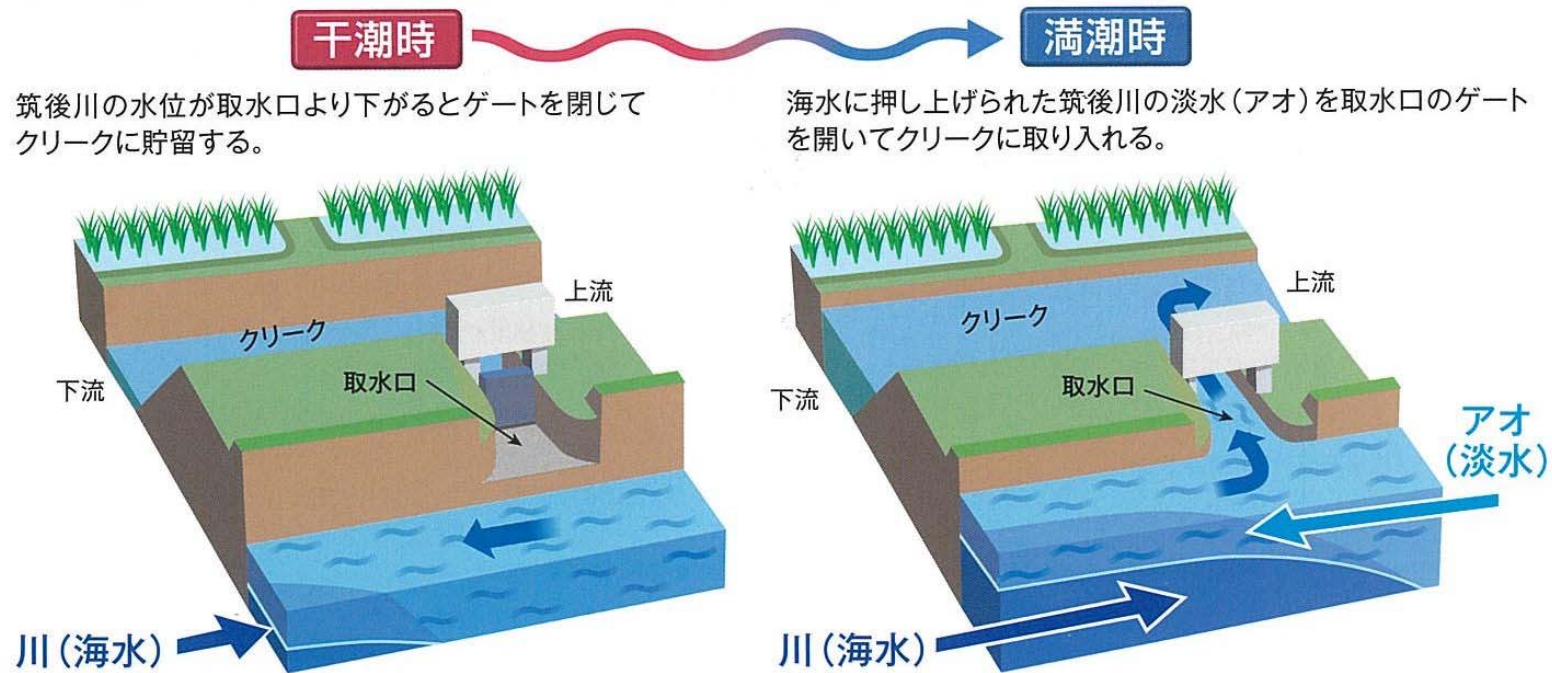


6次化への取組



参考① 淡水（アオ）取水

- 潮汐作用により海水に押し上げられた筑後川の淡水（アオ）を取水すること
→潮位や塩分濃度をみながら限られた時間しか取水できない。



参考② [H20～R元 12ヶ年]配水量及び6/1～20間の降雨量

